

事業所名

くれよん三山木 児童発達支援

支援プログラム（参考様式）

作成日

令和8 年

5 月

30 日

| | | | | | | | | | | |
|-----------|-----------------|--|------|----|---------|-----|--|---------|----|----|
| 法人（事業所）理念 | | 安心・安全 ～子ども達が楽しく遊び・学び、成長できる場所～ | | | | | | | | |
| 支援方針 | | <ul style="list-style-type: none"> ・少人数保育の強みを活かし、信頼関係が築かれた安心できる場所を提供する ・安定した保育者との関係があるなかで、遊びや友だちとの関係を広げる | | | | | | | | |
| 営業時間 | | 9 時 | 20 分 | から | 16 時 | 0 分 | まで | 送迎実施の有無 | あり | なし |
| 支 援 内 容 | | | | | | | | | | |
| 本人支援 | 健康・生活 | 身辺自立に向けた取り組みとして、友だち・保育者と楽しく食事をとる時間の提供、子どもに合わせて排泄の自立に向けての練習等を行っています。 | | | | | | | | |
| | 運動・感覚 | 保育の中での運動遊び、公園遊び、季節に応じた遊び（プール遊びやピクニック）を通して、体を存分に動かして遊ぶ機会を作っています。 | | | | | | | | |
| | 認知・行動 | 登園時に線引きや塗り絵、なぞり書きなど、就学に向けた机上活動に取り組む時間を設けています。子どもの成長に応じた課題設定の工夫を行っています。 | | | | | | | | |
| | 言語 コミュニケーション | 各種の活動の中で友だち同士のコミュニケーション機会の芽生え・深まりを見守り、必要に応じて保育者が間に入りながら気持ちの表現や理解の成長を目指しています。 | | | | | | | | |
| | 人間関係 社会性 | 少人数保育の強みを活かし、保育者が側にいる安心感のもと、新たな課題へのチャレンジや集団遊びへの参加等を図っています。 | | | | | | | | |
| 家族支援 | | 定期的な面談を実施し、保護者が安心して子育てに向かえるサポートを行っています。 | | | 移行支援 | | 就学後に放課後等デイサービスを利用希望の方には必要に応じて併設の放課後等デイサービスをご紹介します。連携体制を構築し、情報共有を行うことでスムーズな移行を図っています。 | | | |
| 地域支援・地域連携 | | 必要に応じて子どもが通う保育所等との連携・相談を行っています。 | | | 職員の質の向上 | | 職員研修を行い、提供する保育の質向上に努めています。 | | | |
| 主な行事等 | | プール遊び・ハロウィン・芋ほり・クリスマス会・初詣 かぶと虫育成・園外保育（遠足） 避難訓練・食育プログラム | | | | | | | | |